

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マリス株式会社新工場新築	階数	地上3F
建設地	大阪府箕面市森町西	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年3月 竣工	評価の実施日	2023年10月19日
敷地面積	6,430 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社奥村組西日本支社一級建築士事務所 杉野 勝啓
建築面積	2,734 m <sup>2</sup>	確認日	2023年10月19日
延床面積	7,697 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社奥村組西日本支社一級建築士事務所 杉野 勝啓



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 83% (38 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 83% (38 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 83% (38 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	LED照明を採用し設備の高効率化に配慮した	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	事務所の窓設置箇所および大きさに配慮し机上面の明るさを確保した 下地を含む内装材はF☆☆☆☆を採用	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b>	BPI <sub>m</sub> =0.86、BEI <sub>m</sub> =0.69 トップライトを採用し、自然エネルギーを利用し環境負荷低減に配慮した	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車場を計画し、荷捌用車両の駐車スペースを十分に確保した チェックリストの過半を満たし、広告照明無しとし、光害抑制に配慮した
<b>Q2 サービス性能</b>	天井高2.7mかつ窓の設置で利用者の景観に配慮した 内装面、床材は防汚性の高い仕上げとし、外部建具に水切りを設け維持管理に配慮した	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	主要な水栓は節水コマ付きとし、主要な便所は節水型便器を採用した グリーン購入法における特定調達項目より内装材を選定し省資源に配慮した	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)ママリス株式会社新工場新築工事					
	建設地	大阪府箕面市森町西					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.4	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.1	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		